


当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2029年10月17日まで（2023年2月17日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2024年9月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。2024年10月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2023-02（限定追加型）



第3期（決算日：2026年2月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

- ◆当期間の運用で主眼を置いたポイント
- ・当期間の株式市場は、米国の関税引き上げ懸念などから株式市場が下落した局面があった一方、その後、テクノロジー関連のグロース株を中心に上昇しました。特にクオリティ銘柄は、リスクオン環境においてファンダメンタルズの裏付けに乏しい銘柄が選好されたことから劣後しました。また、生成AIによる事業代替懸念を背景に、当ファンドで比較的多く保有しているソフトウェア・サービスや金融サービス関連銘柄などが下落し、パフォーマンスの悪化要因となりました。
- ・主な投資行動としては、オンライン商取引やクラウド事業を手掛けるAMAZON.COM INCなどを新規に組み入れました。一方で、総合コンサルティング企業であるACCENTURE PLC-CL Aなどを全売却しました。
- ◆今後の見通し
- ・マクロ経済の成長は総じて緩やかにとどまる一方、株式市場のバリュエーションは過去の平均と比べて割高な水準にあり高い利益成長の継続が前提とされています。当ファンドは、市場対比で投下資本利益率や粗利益率、将来の売上成長見通しといった高いクオリティ特性を有しな

がら、株価フリー・キャッシュ・フロー倍率で見ればこれまでの水準と比べて割安であり、その割安度が解消されることで堅実なパフォーマンスが期待できると考えています。

- ◆運用方針
- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらす、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム
運用責任者
ウィリアム・ロック



ファンド・マネジャー
ブルーン・ポールソン

上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	込	み					
	円	円	円	円	%	%	%	%	百万円
(設定日) 2023年2月17日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	6,467
1期(2024年2月26日)	11,111	0	0	11.1	63.5	—	—	—	9,510
2期(2025年2月25日)	11,874	0	0	6.9	97.4	—	—	—	8,101
3期(2026年2月24日)	10,616	0	0	△10.6	98.3	—	—	—	5,032

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率 %	株 組 入 比 率 %	株 先 物 比 率 %	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
(期 首) 2025年2月25日	11,874	—	97.4	—	—	—
2月末	11,730	△ 1.2	97.5	—	—	—
3月末	11,535	△ 2.9	97.0	—	—	—
4月末	10,966	△ 7.6	97.0	—	—	—
5月末	11,515	△ 3.0	97.6	—	—	—
6月末	11,548	△ 2.7	97.9	—	—	—
7月末	11,869	△ 0.0	97.7	—	—	—
8月末	11,640	△ 2.0	98.1	—	—	—
9月末	11,490	△ 3.2	97.5	—	—	—
10月末	11,618	△ 2.2	97.7	—	—	—
11月末	11,671	△ 1.7	97.8	—	—	—
12月末	11,819	△ 0.5	97.6	—	—	—
2026年1月末	11,130	△ 6.3	98.4	—	—	—
(期 末) 2026年2月24日	10,616	△10.6	98.3	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

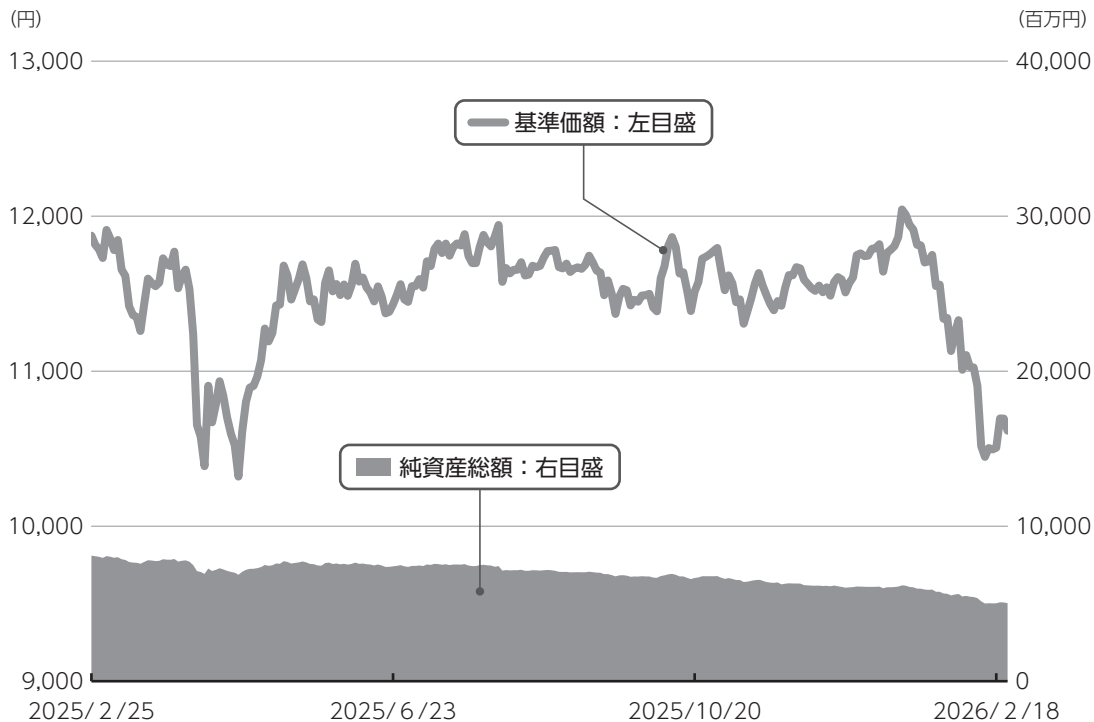
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第3期：2025年2月26日～2026年2月24日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	11,874円
第3期末	10,616円
既払分配金	0円
騰落率	-10.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ10.6%の下落となりました。

▶ 基準価額の変動要因

下落要因

SAP SEやRELX PLCの株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第3期：2025年2月26日～2026年2月24日

投資環境について

▶ 株式市況

先進国株式市場は上昇しました。

トランプ米政権による関税引き上げなどの政策を受けて、世界的な景気後退や貿易戦争の激化への懸念が高まったことなどから一時下落する局面があったものの、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が高まったことなどがプラス材料となり上昇しました。

▶ 為替市況

米ドル、ユーロ、英ポンドはいずれも対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2023-02（限定追加型）

株式部分については、設定日から2024年9月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミ

ム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

AMAZON.COM INC：営業利益の過半を占めるクラウド事業の高い成長性とそれを中核とした中長期的な業績拡大を評価し、新規購入しました。

主な全売却銘柄

ACCENTURE PLC-CL A：生成AIの競争環境やITサービス業界の成長鈍化リスクなどを懸念し、全売却しました。

当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2025年2月26日～2026年2月24日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	1,878

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2023-02（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2025年2月26日～2026年2月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	208	1.811	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(120)	(1.043)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(82)	(0.713)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.008)	
(c) 有価証券取引税	2	0.018	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(2)	(0.018)	
(d) その他費用	2	0.017	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	213	1.854	

期中の平均基準価額は、11,495円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

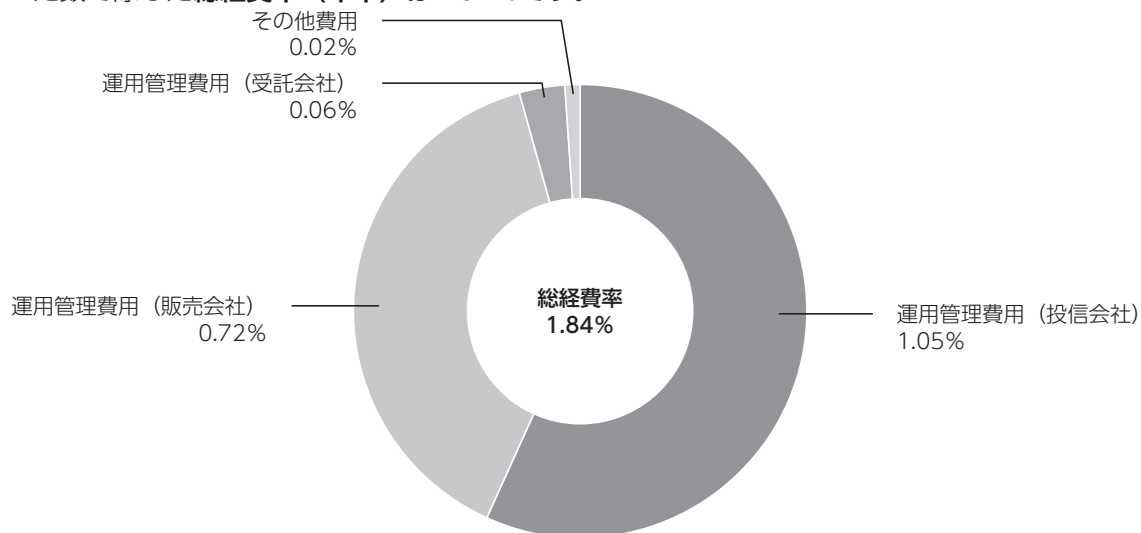
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.84%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2026年2月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 332,071	千円 2,509,353

○株式売買比率

(2025年2月26日～2026年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	512,858,878千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	523,588,081千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.97	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2026年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月24日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 1,046,928	千口 714,857	千円 5,007,075

○投資信託財産の構成

(2026年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 5,007,075	% 97.9
コール・ローン等、その他	105,504	2.1
投資信託財産総額	5,112,579	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（438,495,511千円）の投資信託財産総額（450,840,168千円）に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=154.86円	1 ユーロ=182.55円	1 イギリスポンド=209.01円	1 スイスフラン=199.95円
1 スウェーデンクローネ=17.09円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年2月24日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,112,579,419
コール・ローン等	81,162,535
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(信託)	5,007,075,245
未収入金	24,340,038
未収利息	1,601
(B) 負債	80,167,549
未払解約金	22,707,589
未払信託報酬	57,352,267
その他未払費用	107,693
(C) 純資産総額(A-B)	5,032,411,870
元本	4,740,524,305
次期繰越損益金	291,887,565
(D) 受益権総口数	4,740,524,305口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,616円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,822,975,270円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 2,082,450,965円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0616円です。

②分配金の計算過程

項 目	2025年2月26日～ 2026年2月24日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	46,925円
分配準備積立金額	890,555,487円
当ファンドの分配対象収益額	890,602,412円
1万口当たり収益分配対象額	1,878円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

20億円以下の部分に対して	年1万分の80
20億円超40億円以下の部分に対して	年1万分の75
40億円超80億円以下の部分に対して	年1万分の70
80億円超の部分に対して	年1万分の65

○損益の状況（2025年2月26日～2026年2月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	310,273
受取利息	310,273
(B) 有価証券売買損益	△471,768,544
売買益	49,691,251
売買損	△521,459,795
(C) 信託報酬等	△125,004,886
(D) 当期損益金(A+B+C)	△596,463,157
(E) 前期繰越損益金	890,555,487
(F) 追加信託差損益金	△ 2,204,765
(配当等相当額)	(46,925)
(売買損益相当額)	(△ 2,251,690)
(G) 計(D+E+F)	291,887,565
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	291,887,565
追加信託差損益金	△ 2,204,765
(配当等相当額)	(46,925)
(売買損益相当額)	(△ 2,251,690)
分配準備積立金	890,555,487
繰越損益金	△596,463,157

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
（2025年4月1日）
- ②2025年2月に作成の交付運用報告書記載の「代表的な資産クラスの騰落率の平均値」について誤りがございました。
誤記載の内容および訂正内容については、下記の通りです。

記

<誤記載の箇所>

交付運用報告書の「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」のグラフのうち、「新興国債」の騰落率の「平均値」（2020年2月末～2025年1月末）

<訂正内容>

正：6.7

誤：6.6

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第28期》決算日2026年2月24日

[計算期間：2025年8月26日～2026年2月24日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月24日に第28期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第28期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 信託財産の成長を目指して運用を行います。 運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率					
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
24期(2024年2月26日)	70,968	16.5	150.36	3.2	32,533	15.4	98.1	—	490,493
25期(2024年8月23日)	70,888	△0.1	146.27	△2.7	35,505	9.1	98.6	—	506,898
26期(2025年2月25日)	76,985	8.6	150.23	2.7	37,883	6.7	97.9	—	548,147
27期(2025年8月25日)	77,071	0.1	147.45	△1.9	41,835	10.4	98.2	—	555,427
28期(2026年2月24日)	70,043	△9.1	154.86	5.0	45,296	8.3	98.8	—	441,887

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)(出所: MSCI)の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率			
(期 首) 2025年8月25日	77,071	—	147.45	—	41,835	98.2	—
8月末	76,150	△1.2	146.92	△0.4	41,912	98.4	—
9月末	75,296	△2.3	148.88	1.0	42,846	98.0	—
10月末	76,249	△1.1	154.10	4.5	43,801	98.1	—
11月末	76,697	△0.5	156.63	6.2	43,785	98.3	—
12月末	77,801	0.9	156.56	6.2	44,678	98.1	—
2026年1月末	73,356	△4.8	153.66	4.2	45,552	98.9	—
(期 末) 2026年2月24日	70,043	△9.1	154.86	5.0	45,296	98.8	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

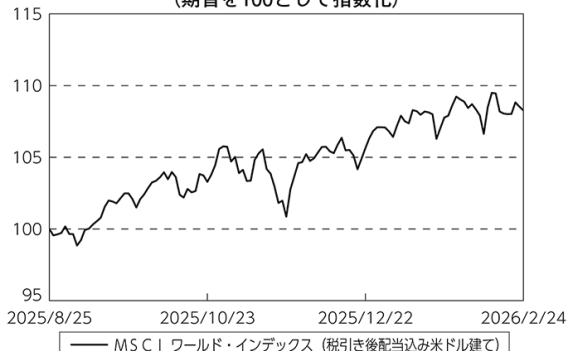
(下落要因)

SAP SEやRELX PLCの株価が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

参考指数の推移

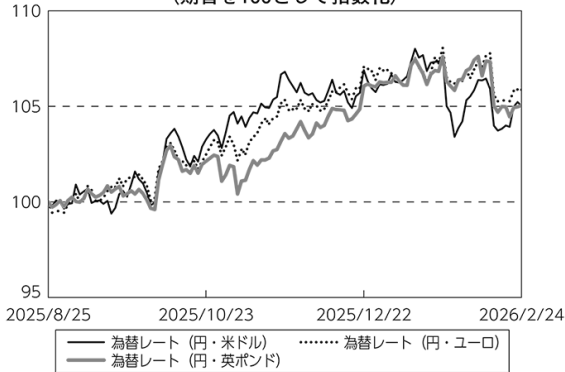
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市場は上昇しました。
- ・先進国の株式市況は、米国が中国に対する追加関税を見送る方針であることなどを受けて、貿易問題を巡る米中の対立が緩和するとの期待が高まったことなどから上昇しました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドル、ユーロ、英ポンドはいずれも対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・「AMAZON.COM INC」: 営業利益の過半を占めるクラウド事業の高い成長性とそれを中核とした中長期的な業績拡大を評価し、新規購入しました。

◎主な全売却銘柄

- ・「ACCENTURE PLC-CL A」: 生成AIの競争環境やITサービス業界の成長鈍化リスクなどを懸念し、全売却しました。

◎今後の運用方針

- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や継続的な売上をもたらす、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2025年8月26日～2026年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 4 (4)	% 0.005 (0.005)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	4 (4)	0.005 (0.005)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	5 (5)	0.007 (0.007)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	13	0.017	
期中の平均基準価額は、75,619円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年8月26日～2026年2月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 36,818	千アメリカドル 706,852	百株 38,822	千アメリカドル 1,003,619
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	343	7,843	3,951	72,280
	フランス	—	—	1,657	62,138
	オランダ	1,213	41,471	50	1,560
	イギリス	—	—	1,000	3,189
	イギリス	14,341	千イギリスポンド 46,918	67,010	千イギリスポンド 39,644

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2025年8月26日～2026年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	313,575,400千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	513,055,916千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年8月26日～2026年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	6,398	6,823	78,671	12,183,082	ヘルスケア機器・サービス	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	3,547	385	7,931	1,228,305	商業・専門サービス	
ACCENTURE PLC-CL A	4,653	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
AUTOZONE INC	147	222	85,274	13,205,533	一般消費財・サービス流通・小売り	
COCA-COLA CO/THE	20,653	18,491	148,971	23,069,684	食品・飲料・タバコ	
CME GROUP INC	3,374	2,942	92,393	14,308,115	金融サービス	
EQUIFAX INC	2,061	1,362	25,668	3,974,994	商業・専門サービス	
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	1,231	—	—	—	金融サービス	
S&P GLOBAL INC	2,164	2,104	85,203	13,194,654	金融サービス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	8,363	7,294	120,477	18,657,090	家庭用品・パーソナル用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	2,357	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,433	1,300	67,167	10,401,585	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	—	2,545	94,191	14,586,489	半導体・半導体製造装置	
MICROSOFT CORP	6,235	3,894	149,718	23,185,329	ソフトウェア・サービス	
ORACLE CORP	1,221	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
NETFLIX INC	—	8,697	66,116	10,238,870	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL A	5,916	4,947	154,108	23,865,183	メディア・娯楽	
SYNOPTIS INC	—	1,819	76,547	11,854,092	ソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	—	3,853	79,099	12,249,326	一般消費財・サービス流通・小売り	
BOOKING HOLDINGS INC	191	135	52,302	8,099,589	消費者サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	6,521	6,914	106,553	16,500,950	金融サービス	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	2,695	2,351	41,314	6,398,013	商業・専門サービス	
MSCI INC	654	1,003	54,010	8,364,020	金融サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	3,039	2,650	49,620	7,684,159	食品・飲料・タバコ	
VISA INC-CLASS A SHARES	6,936	4,161	127,561	19,754,105	金融サービス	
ZOETIS INC	6,160	5,920	74,475	11,533,253	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	1,826	—	—	—	金融サービス	
ARTHUR J GALLAGHER & CO	4,870	4,251	91,129	14,112,310	保険	
CDW CORP/DE	2,709	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
STERIS PLC	2,245	3,209	79,301	12,280,561	ヘルスケア機器・サービス	
UBER TECHNOLOGIES INC	—	9,488	67,099	10,391,048	運輸	
AON PLC-CLASS A	3,494	2,330	73,486	11,380,162	保険	
OTIS WORLDWIDE CORP	8,070	7,906	71,590	11,086,540	資本財	
FERRARI NV	—	1,164	41,750	6,465,546	自動車・自動車部品	
小 計	株数・金額	120,175	118,172	2,261,737	350,252,602	
	銘柄数<比率>	28	28	—	<79.3%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	10,560	6,952	116,700	21,303,731	ソフトウェア・サービス	
小 計	株数・金額	10,560	6,952	116,700	21,303,731	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.8%>	
(ユーロ…フランス)						
L'OREAL	4,222	2,564	101,845	18,591,882	家庭用品・パーソナル用品	
小 計	株数・金額	4,222	2,564	101,845	18,591,882	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.2%>	

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…オランダ) FERRARI NV	百株 —	百株 1,162	千ユーロ 35,339	千円 6,451,302	自動車・自動車部品	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	— 1	— —	— < 1.5% >		
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	5,224	4,224	10,957	2,000,210	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5,224 1	4,224 1	10,957 —	2,000,210 < 0.5% >	
ユーロ計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	20,008 3	14,903 4	264,843 —	48,347,128 < 10.9% >	
(イギリス) RELX PLC EXPERIAN PLC HALEON PLC	24,780 11,655 247,559	27,336 17,576 186,414	千イギリスポンド 61,534 44,362 76,355	12,861,383 9,272,217 15,959,057	商業・専門サービス 商業・専門サービス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	283,996 3	231,327 3	182,252 —	38,092,658 < 8.6% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	424,180 34	364,403 35	— —	436,692,389 < 98.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年2月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 436,692,389	% 96.9
コール・ローン等、その他	14,147,779	3.1
投資信託財産総額	450,840,168	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（438,495,511千円）の投資信託財産総額（450,840,168千円）に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=154.86円	1 ユーロ=182.55円	1 イギリスポンド=209.01円	1 スイスフラン=199.95円
1 スウェーデンクローネ=17.09円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	454,992,032,453
コール・ローン等	7,134,931,041
株式(評価額)	436,692,389,341
未収入金	10,935,387,166
未収配当金	229,240,358
未収利息	84,547
(B) 負債	13,104,132,466
未払金	12,209,443,170
未払解約金	894,689,296
(C) 純資産総額(A-B)	441,887,899,987
元本	63,088,485,801
次期繰越損益金	378,799,414,186
(D) 受益権総口数	63,088,485,801口
1万口当たり基準価額(C/D)	70,043円

<注記事項>

- ①期首元本額 72,066,991,822円
 期中追加設定元本額 503,501,120円
 期中一部解約元本額 9,482,007,141円
 また、1口当たり純資産額は、期末7.0043円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	44,470,783,255円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	12,013,987,891円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	4,615,206,268円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	852,592,870円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2023-02(限定追加型)	714,857,337円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	351,080,216円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	65,197,478円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	4,780,486円
合計	63,088,485,801円

○損益の状況 (2025年8月26日~2026年2月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,387,275,771
受取配当金	2,285,324,364
受取利息	101,947,566
その他収益金	3,841
(B) 有価証券売買損益	△ 48,323,149,364
売買益	47,769,837,128
売買損	△ 96,092,986,492
(C) 保管費用等	△ 36,138,422
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 45,972,012,015
(E) 前期繰越損益金	483,360,061,908
(F) 追加信託差損益金	3,248,974,634
(G) 解約差損益金	△ 61,837,610,341
(H) 計(D+E+F+G)	378,799,414,186
次期繰越損益金(H)	378,799,414,186

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。